

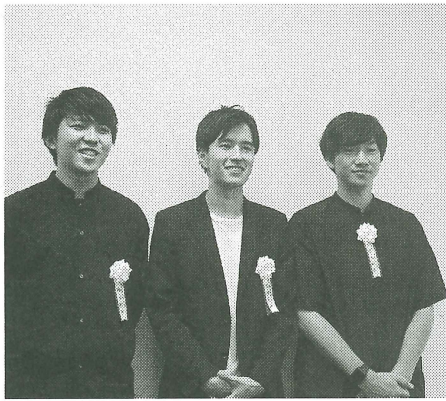
ポラスグループ
第6回

応募作品549点に

学生建築デザインコンペ

ポラスグループの学生を対象として建築コンペティションが今年で6回を数える。

同グループの学生コンペティションで特筆されることは学生の作品を次のように実物件化していることである。



(左より)最優秀賞受賞の西宮航平氏、池田勇輝氏、遠西裕也氏

第1回コンペティションの応募作品から、①中央住宅「ミライズ二郷中央」②ポラスガーデンビルズ「ポラス八柱ストーリー・Domahut」。

第4回応募作品から、ポラスタウン開発「ことしな浦和」。

今年開催された第6回コンペティションについては、実物件化対象の案を複数選定。その中から実物件として取り組むものを選定中である。

(アイデア)を表現・公表する機会を設け、将来活動が期待できる学生を応援するものである。

同グループは「第6回POLUSポラス学生・建築デザインコンペティション」の公開審査会を6月21日にポラテックのウッドスクエアで開催した。

同コンペティションは、大学院や大学、高等専門学校、専修学校、高等学校などに通う学生を対象に、建築の道を志す学生の自由で新鮮な発想

今回の登録件数は980件、応募作品点数は549点。この中から第一次審査を通過した作品5点の公開審査が行われた。選出された学生たちは、自作の模型を使いながら作品をプレゼンテーションを行った。5人の審査委員がそれぞれの作品について質疑応答とともに評価を行った。

最優秀賞は、「BU Gs LIFE(蟲十人)」(池田勇輝、遠西裕也・東京都立大学大学院、西宮航平・東京工業大学大学院)。

優秀賞は、「ヨソモノカソク」(徳野友香・千葉大学大学院)。

入選は、「塀村」(金俊浩・東京工業大学大学院)、「つるだなでつながる」(川見夏海、沖美彩子・早稲田大学大学院)、「凭れる群生」(片山美樹、青木凧・明治大学大学院)。

佳作は、「フリーエの棲家」(松本隼、友光俊介、山下耕生・早稲田大学)、「帰る場所のつくりかた」(石原可南子、植木柚花、津村智弘・名古屋大学大学院)、「COMPANION PLAN TS VILLAGE」(牧拓志・神戸大学大学院)、「余所モノ、シェアされた哲学」(横山隼也・東京大学大学院、諏訪晴貴・東京理科大学大学院)、「24の修辞法から広がるイエ」(安達裕紀、岡崎卓・法政大学大学院)。